

カリキュラム区分		2カリ		シラバス区分		学部生		
科目区分	科目コード	履修時期		開講学科	選択区分	科目名（上段：和名、下段：英名）	時間	単位
		学年	学期					
専門科目	238	3年	前期	看護学科	必修	在宅看護方法論 Home Care Nursing Methods	30	1
担当教員								
窪田 静	長尾 奈美	奥田 美恵	瀬戸 裕一	河野 瑠奈	吉田 美由紀*			
関連するDPキーワード（看護学科）								
<input type="radio"/>	① 幅広い視野と豊かな感性を身につけ、人々の権利や意思を尊重した倫理的な看護が実践できる。							
<input type="radio"/>	② 他者との関係性を成立・発展させるためのコミュニケーション能力を身につけている。							
<input type="radio"/>	③ 地域で生活する複雑・多様な対象を、専門的知識に基づき総合的に理解するための基礎的能力を身につけている。							
	④ 看護の対象が、その人らしく生きられるように、科学的根拠に基づいた看護が実践できる能力を身につけている。							
	⑤ 地域社会及び保健・医療・福祉分野における多職種と連携・協働し、看護職の役割を拡大できる基礎的能力を身につけている。							
	⑥ 看護専門職として、主体的・創造的に継続学習に取り組む能力を身につけている。							
	⑦ グローバルな視点で看護実践を科学的に探究し、看護を発展させる基礎的能力を身につけている。							
関連するDPキーワード（臨床検査学科）								
	① 幅広い知識・教養をもとに、医学検査の対象となる人を総合的に理解し、その人の権利や意思を尊重することができる。							
	② 医学的に必要な専門知識・技術を備え、検査データを総合的に解析する力を身につけている。							
	③ 多職種間で連携・協働しながら医学検査の専門家として貢献できる力を身につけている。							
	④ 医学検査とそれぞれに関連した幅広い分野の発展・向上のために、自らの能力を高める自己教育力を身につけている。							
	⑤ 科学的思考力に基づき、医学検査の進歩・発展に対応できる学究的態度を身につけている。							
	⑥ 医学検査を通して、社会の多様性に合わせた貢献ができる基礎的能力を身につけている。							
授業目的								
療養者とその家族の望む生活に焦点を当て、療養生活の支援に必要な基礎的知識・技術を理解することができる。 在宅看護の事例をもとに、療養場所や介入時期別の療養生活の支援方法をグループで学習することができる。								
到達目標（授業目標）								
1. 在宅看護における健康や療養生活を捉える視点を記述できる。								
2. 療養者の望む生活を支えるために必要な法制度や社会資源について、事例と関連付けて説明できる。								
3. 療養者とその家族の意向を尊重した療養生活支援計画（ケアプラン）を立案することができる。								
4. 療養場所や介入時期に応じた看護師の役割を説明できる。								

実務家教員

看護師（医療機関）	窪田 静	長尾 奈美	吉田 美由紀*			
保健師（行政機関）	奥田 美恵	瀬戸 裕一	河野 瑠奈			
備考						